



保健師シリーズ 神戸町



神戸町は岐阜県の南西部に位置し、東に揖斐川、南には濃尾平野が広がる地下水の豊かな町です。町の花はバラで、開花の時期には町内のいたる所で色とりどりのバラの花が咲き乱れます。町のマスコットである「ばら菜」は2016年のゆるキャラグランプリで岐阜県第1位に輝き、全国に神戸町の魅力を発信するために活躍しています。面積は18.78km²と岐阜県で7番目に小さい町ですが、人口約2万人と人口密度は10番目に高くなっています。山は無

コンパクトで
住みやすい町、神戸町

からだの
バランスを整えて、
バラ色の人生を！

く平坦な土地のため、人口密度の割には田園風景が広がる緑豊かな町です。

神戸町の健康は団塊の
世代がカギとなります

神戸町では高度成長期の終わりを、昭和46年に大規模な工業団地が完成しました。それに伴い人口が急激に増加し、昭和45年から昭和55年までの間に人口が1万3615人から1万9338人と、1.42倍に増加しています(この間、国の増加率は1.12倍でした)。この増加は主に団



地域包括支援センター
左から 大場保健師、山田保健師、山下保健師



保健センター
後列左から 加中保健師、神田保健師、室井保健師、田宮保健師
前列左から 林保健師、田中保健師、大橋管理栄養士

塊の世代を中心とした人が、働き手として多数転入してきたことによるものと思われます。
平成27年度の神戸町の人口ピラミッドを見ると、男性は65〜75歳、女性は60〜70歳の年代が分厚い

ため、高齢化率は28.5%と高いですが、元気な高齢者が比較的多いのが特徴です。ただし、これまでの神戸町は、医療機関の受診率が高いが、一人あたりの医療費が低いのが特徴でしたが、近年一人あたり医療費も急速に増加しており、受診率と一人あたりの医療費の両方が高い時代に突入しています。



ドクターフィッシュ体験の様子

神戸町の特定健診の受診率は毎年50%に近い高い水準を維持しており、医療費については、外来医療費が多く入院医療費が少ない傾向にあります。また、医療機関の受診率はここ数年県内で1位が続いています。つまり、健診をしっかり受診し、通院も確実にしている人が多く、それゆえ入院医療費が少ないことから、健康に対する意識が高い町といえます。この強みを生かし、さらに健康意識を高めることと、正しい知識の普及が、今後の保健活動の重点になるのは言うまでもありません。

健康に対する意識が高い
町です

楽しく健康について学ぶ、
健康イベント
「ヘルスウォッチング」

神戸町では、かなり以前より健康イベントを開催していましたが、平成17年に介護予防施設「ばらの里」が開館し、その翌年に開館記念イベントとして春に健康イベントを「ばらの里」で開催しました。以降は「ヘルスウォッチング」として健康イベン

ばら菜と
片足立ち勝負!!



特定健診の状況 (法定報告値)

	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
平成23年	3,979	1,894	47.6
平成24年	3,937	1,922	48.8
平成25年	3,988	1,993	50.0
平成26年	3,982	1,940	48.7
平成27年	3,839	1,890	49.2

トが定着しています。
健康イベントでは、骨密度測定や血液サラサラチェック、歯科検診など、様々なブースが設置され、各ブースとも毎年長蛇の列ができるほどのです。昨年はロコモ対策の一環としてロコトレの普及・推進を目的に、「ばら菜」と参加者で片足立ちの勝負をさせていただきました。最初は勝負を遠慮していた参加者も、勝負に参加した後はとてもいきいきとした表情をされていました。いつまでも健康で若々しくいる秘訣は、積極的に人前に出ることや、時には誰かと競うことだと改めて実感した場面でした。
その他、各々のブースでも参加者は自分の結果に一喜一憂しながらお友だちと楽しそうにされています。自分の結果に満足している人は、今までの取り組みで満足している人は、今までの取り組みで満足している人は、満足し、継続の意欲が高まったと思えますし、思うような結果が出なかった方は、日頃の生活習慣を見直す良い機会になったと思います。
毎年、5月に健康イベント「ヘルスウォッチング」を神戸町の介護予防施設「ばらの里」で開催しています。ぜひこの機会に神戸町にお越しください。保健師一同、お待ちしております。